令和6年度 学校教育に関するアンケート結果について

青森県立八戸高等支援学校

I 実施期間 令和6年11月28日（木）～令和6年12月12日（木）

II 回収率

教職員	88.1%	(52名/59名)
保護者	96.4%	(159名/165名)
生徒	90.5%	(152名/168名)

III 集計について

教職員に対して【学校経営方針に基づく重点課題に関する設問（26）】

保護者に対して【学校教育に関する設問（19）】

生徒に対して【学校に関する設問（18）】及び【授業に関する設問（12）】

を設定した。

教職員・生徒には「よくできている・そう思う」「大体できている・ややそう思う」「あまりできていない・あまり思わない」「できていない・思わない」の4段階評価とし、保護者には「わからない」を追加した5段階評価で実施した。また、教職員と保護者は無記名式、生徒は記名式で実施した。

回収したアンケート結果は、別紙資料1～3のとおり設問毎に結果を集計し、自由記述等についてはそれぞれ主なものを掲載した。

IV 集計結果について

1 教職員による評価

(1) 評価結果〈資料1「教職員による学校評価アンケート（集計結果）」参照〉

◆ 26設問のすべてにおいて、「よくできている」と「大体できている」を合わせた肯定的評価が96%以上となった。そのうち、15設問が100%である。

(2) 教職員からの意見等

- ① 重点課題1 「生徒の育ちと学びを支える指導力について」
 7. 学習の振り返りが充実していない。
- ② 重点課題2 「周囲との信頼を築く教師力について」
 14. 行事の準備や情報共有の時期が遅い。担当からの情報が乏しい時がある。
 15. 過去の学習を踏襲するだけで、生徒の実態に応じたカスタマイズがされていない。
 17. 職員数。一人担任。
- ③ 重点課題3 「地域に溶け込む学校力について」
 21. PTA活動に対し、円滑に進めるための支援ができていない。
- ④ その他
 - ・ 学級編成について
 - ・ 配膳業務や諸費回収業務の外部委託はできないものか。
 - ・ 二次障害等を示す生徒が増えてきている。研修の機会。病弱養護で実践経験のある教員のサポートがあれば助かる。
 - ・ 不登校、集団での不適応（二次障害）を示す生徒への対応の仕方について、

校内全体でより理解を深めたり、対応の仕方を相談し合えたりする時間が増えると良いと感じている。教師側のゆとりを増やせる取り組みをしていきたい。

(3) 評価結果の考察及び改善点

◆ これまで教職員に対して、記名式のアンケートを実施していたが、記名式では、実情を把握しにくいとの指摘を受け、今回から無記名式に変更した。しかし、記名がないため、アンケート未回答者への再依頼ができず、回収率の低下につながった。次回は、無記名式を継続しつつ回答者の氏名を記録できるように改善する。

◆ 設問内容の変更等は以下の通りである。

- ・ 設問 3 「新型コロナウイルス感染症」を削除した。
- ・ 設問 10 「組織的な指導」から「ICTを活用した指導」へ変更した。
- ・ 設問 16 「ICTの活用」を削除した。
- ・ 設問 19 「働きたくなるような学校づくり」から「やりがいをもって働くことができる環境・体制づくり」へ変更した。
- ・ 設問 20 【「支え合い補い合う組織」として、教育活動を展開している。】を新設した。
- ・ 設問 23 (前年は22) 「地域コーディネーターを中心に教育活動を生かし、地域奉仕に取り組む」から「社会に開かれた教育課程を編成し」に変更した。

1 (1) 評価結果の通り、すべての設問において高い評価が得られ、チーム八高支としてやりがいを持つことができる環境や体制の中、学校の教育目標や重点課題に沿った教育活動が、概ね適切に行われているものと判断できる。

また、県が実施した教職員ストレスチェックの結果も良好であり、数値比では直近5年中、今年度が最も良かった。県平均と比較すると、ストレス傾向が低く、特に対人関係や上司支援の項目が高い結果となった。

◆ 前年と比較し、「よくできている」の評価が10ポイント(以下pt)を超えて向上したのは、次の三つである。

- 【21. PTA活動への支援】……………+11pt (56%)
- 【22. 情報発信、学校公開等への取組】……………+16pt (69%)
- 【24. 学校運営協議会の活用】……………+13pt (65%)

いずれも重点課題3の項目であり、「地域に溶け込む学校力」が向上していることが示された。

◆ 「よくできている」のみに着目すると最も低かったのが、

【15. 教科等横断的、系統的な指導内容の設定】

【17. 働き方改革の推進、負担軽減】

の二つの設問であり、どちらも38%であった。

1 (2) 教職員からの意見には、「生徒の実態に応じた学習のカスタマイズ」について挙げられ、生徒による授業評価では、「自分に合った授業内容」や「授業への興味・関心」について否定的にとらえている生徒が10%を超える結果となった。これらを改善する取組のひとつとして、具体的な活動を通じて教科内容を横断的に指導しやすいワーキングや専門教科、校外学習や実習等をプロジェクト型学習(PBL)ととらえ直し、系統性の確保には、学年ごとに目標が設定され、段階的に学びが深まっているかといった視点で、検討及び

検証を進めていくことが挙げられる。そのためには、各教科の指導内容が統合されるように教員同士が連携し、学校教育目標に向けた指導計画の作成等に留意することが必要である。

働き方改革の指標となる時間外在校等時間(平日)と年次休暇取得日については次の通りである。時間外在校等時間1か月平均の累計(4月から12月)は、前年度220時間、今年度204時間となり減少した。年次休暇取得日の平均は、前年度、今年度ともに県が目標とする16日程度を達成した。この二つについて、次年度以降も大幅に改善させることは難しいと考えるが、今後もデータやICTツールの活用をさらに推し進めるとともに、教職員の意見収集等から現場の課題や改善案を反映させ、柔軟な改善サイクルの確立を目指す。

「学校教育目標」(設問1と2)に関しては、「よくできている」の評価はどちらも半数程度であったが、前年に比べ、【2. 教育目標の意識】は10pt向上した。全教職員が重点課題を的確に把握し、良好な教育活動を生み出すことができたこととらえている。

2 保護者による評価

(1) 評価結果〈資料2「学校教育に関する保護者アンケート(集計結果)」参照〉

◆ 「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた肯定的評価が90%以上は19設問中八つ、80%以上90%未満は九つ、70%台は二つとなった。

<90%以上>

- 【 9. 教員の授業に対する取組】……………94%
- 【11. 子どもの悩みに対する取組】……………90%
- 【12. 実習等進路に関する指導や相談】……………96%
- 【14. 来校時の教職員の適切な対応】……………92%
- 【15. 学校と家庭との連携】……………92%
- 【17. 連絡帳・配布物等による学校の様子への伝達】…94%
- 【18. 緊急メールの配信、緊急時の学校の対応】……92%
- 【19. 本校入学の満足度】……………95%

<70%台>

- 【 6. 生徒会・委員会・部等の活動】……………70%
- 【16. PTA活動の運営や内容】……………75%

◆ 「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせて10%以上となった設問は、次の三つである。

- 【 2. 挨拶の励行】……………11%
- 【 3. 服装や髪型等の身だしなみ】……………15%
- 【 6. 生徒会・委員会・部等の活動】……………19%

◆ 「わからない」が10%以上となった設問は次の三つである。

- 【 6. 生徒会・委員会・部等の活動】……………10%
- 【10. いじめや暴力に関する指導】……………16%
- 【16. PTA活動の運営や内容】……………17%

(2) 保護者からの主な意見・感想等(自由記述欄より)

① 連絡や連携について

- ・ 先生によって、連絡や対応が違う。方向性が一致していない。
- ・ PTA役員会や活動の精選、負担軽減、役員人数を減らしてよい。

- ・ 子供の事で相談した際の教員の対応に疑問を感じた。
 - ・ 緊急メールはメールでのお知らせなので分かりづらい。
 - ・ 緊急連絡の行き違いがある。
- ② 生徒への指導について
- ・ 部活動の休みが多い。もう少し活動させたい。
 - ・ 進路指導の仕方が不適切だった。
 - ・ 宿題やプリントの持ち帰りがないので授業内容について分からない。
 - ・ 学習習慣をつけるために宿題を出してほしい。(先生方の負担にならないように)
 - ・ 学校の指導方針や意図が見えない。
 - ・ 一人一人の子どもに適切な対応をしてほしい。
 - ・ 事なかれ主義的な様子を感じる。
 - ・ 卒業後のことも考えてほしい。
- ③ その他
- ・ 八高支へ入学して本当に良かった。担任の先生へも大変恵まれ、日々感謝したい。
 - ・ 先生方は、とても親切なので信頼している。
 - ・ あと少しの学校生活となるが、これまでのことを感謝したい。
 - ・ 担任の先生は、進路や生活指導をしてくれるので、安心して学校に子どもを預けている。今までの担任の先生方は子どもの事を良くみている。
 - ・ 日頃から、熱心に子供に向き合ってくれて、とてもありがたい。親でありながら気付かない部分等、指摘またはその事についてのアドバイス等非常に助かる。
 - ・ 本人が自分の気持ちなどを言わないので、悩みがあるのか分からない。
 - ・ 部活動のことは、部活動に入っていないので分からない。
 - ・ 生徒会、委員会や部活動の事は、こどもから話題を聞いたことがない。

(3) 評価結果の考察及び改善点

- ◆ 「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた肯定的評価が80%以上の設問が19設問中17設問となった。このことから、総じて本校の教育活動が保護者に理解されているものと判断できる。

特に【19. 本校入学の満足度】において、「そう思う」の回答が全設問中最も高い評価(74%)を得たことは、嬉しい限りである。

- ◆ 「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた割合が最も多くなった設問は、【6. 生徒会・委員会・部等の活動】で19%、あわせて「分からない」も10%となった。今年度、入部している生徒の割合は33.9%、また、全員が所属した委員会は、今年度から希望制となり、入会率41.1%となっている。このことから、家庭では、部活動や委員会活動等の話題を共有しにくい状況であるとうかがわれるが、日常の活動を学校だよりやホームページ等を利用した情報提供のさらなる充実に努める。

- ◆ 「わからない」が10%以上となったものは三つ。

【6. 生徒会・委員会・部等の活動】は前述のとおり。

【10. いじめや暴力に関する指導】については、保護者向け講演会の開催等を一案とする。あわせて、現在実施している生活アンケートの結果を保護者へ伝えることも、いじめや暴力に関する指導の理解につながると考える。

【16. P T A活動の運営や内容】については、1 pt減ったものの前年と同様の結果となった。その一方で、教職員の評価が前年比11 pt向上していることから、保護者と教職員の評価に相違がみられる結果となった。今年度は、前年の指摘を受け、年間行事予定表に活動日を載せる等、改善を図ったところである。

ここ2年間のP T A活動の一例として、9月に開催しているスポーツ交流会では、多くの保護者、生徒、教職員が参加し盛況となった。各種活動に参加することで運営や内容を知り判断することになるが、参加が難しい場合もあるので、面談等で学校を訪問した機会をとらえ、P T A活動について情報提供に努める。また、中間アンケート等で会員の意見や感想を収集し、後期の活動に反映させることも理解促進につながると考える。

3 生徒による評価

(1) 評価結果〈資料3「生徒による学校評価・授業評価アンケート(集計結果)」参照〉

- ◆ 【6. I C T機器の活用】を新設した。
- ◆ 「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた肯定的評価として90%を超えた設問が30設問中半数以上の19設問となった。そのうち、95%以上となった設問は、次の六つである。
 - 【 6. I C T機器の活用】……………96%
 - 【11. 清掃用具等の丁寧な扱い】……………95%
 - 【15. 分からないことへの丁寧な対応】……………96%
 - 【25. 授業での分かりやすい説明】……………97%
 - 【27. 授業での見やすい板書】……………95%
 - 【29. 授業での生徒の質問への適切な対応】……………96%
- ◆ 「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせて10%を超えた設問は11設問となった。そのうち、15%超の設問は、次の四つである。
 - 【 2. 八高支生であることに誇りを持っている】……17%
 - 【 3. 八高支祭など学校行事は楽しみである】……17%
 - 【21. 課題や提出物の期限を守っている】……………19%
 - 【22. 自主的に学習する習慣ができています】……………29%

(2) 生徒からの意見・感想等(自由記述欄より)

- ① 学校生活について
 - ・ 授業中の自分の態度を直したい。
 - ・ いじめをなくしてほしい。
 - ・ 政治を学びたい。
 - ・ 学校を休むことは悪いことか。
 - ・ 修学旅行を楽しめるようにスマホの使用等ルールを決めてほしい。
 - ・ 先生方の普段の対応が優しくて助かっている。
 - ・ 校内でのスマホ使用を認めてほしい。
 - ・ バスの中で音楽を聴きたい。(イヤホン使用)
 - ・ 授業のレベルを上げてほしい。
 - ・ 休み時間にタブレットで動画を見たい。
 - ・ 三年生でも修学旅行に行きたい。
 - ・ 自由にタブレットを使いたい。

- ・ 八高支に入学して良かった。
 - ・ 学校が楽しい。
- ② 友人関係について
- ・ 先生方の言葉で、焦る生徒がいるので少し気になる。
 - ・ クラスメイトにしつこく話をされて困っている。

(3) 評価結果の考察及び改善点

- ◆ 「そう思う」と「ややそう思う」を合わせて80%以上の評価が、30設問中29設問であり、そのうち19設問が90%以上と高い評価を得たことから、本校の教育活動が生徒に受け入れられ、円滑に実施できているものととらえている。

特に【6. ICT機器の活用】では、「そう思う」の評価が81%と全設問中最も高い評価となり、ICT活用をテーマとした教員研修の成果が得られた結果となった。また、【18. 本校入学の満足度】については、90%の肯定的評価を維持した。あわせて、教職員の対応や授業評価についても高い評価を得られたことは、教職員の励みになるところである。

「8. 地域や他の学校との交流」については、肯定的評価が95%には達しなかったものの、「そう思う」との評価が前年比で9pt増加した。これは、教職員の評価と同様に、学校運営協議会との連携やその活用が本校の地域交流の活性化につながった結果であると考えられる。

- ◆ 前年と比べ、否定的評価の設問数や割合は減少し、肯定的評価、特に「そう思う」の割合が増加していることから、生徒の自己肯定感が向上しているものと受け止めたい。その一方で、八高支生としての誇りや学校行事に対する否定的評価が17%（それぞれ前年比+6pt、+10pt）であったことは残念に思う。学習習慣については、若干向上したものの大きな変化はみられなかった。

いずれも「主体性」がキーワードとなり、生徒の主体性を引き出す学校行事、授業及び課題の設定については、我々教職員として最も力を注がなければならないことと認識している。今後も家庭との連携を図りながら、一人一人の生徒の実態を踏まえ、丁寧な指導を継続するとともに校内外の研修や実践で培った指導技術を最大限に活用し、生徒が安心して主体性を発揮できる学校づくりに努めていく。

令和6年度 教職員による学校評価アンケート（集計結果）

☑ よく出来ている □ 大体出来ている □ あまり出来ていない ■ 出来ていない

項目	観 点	評 価		よくでき ている	大体でき ている	あまりで きていな い	できてい ない	
		50%	80%					
教育目標	1 学校は、生徒や学校・地域の実態に応じた教育目標を設定している。			58%	42%	0%	0%	
	2 教職員は、日々の教育活動の中で教育目標を意識して取り組んでいる。			52%	48%	0%	0%	
重点課題1 生徒の育ちと 学びを支える 指導力	3 学校や教職員は、生徒の実態に応じた指導や教育環境の整備を行っている。			50%	50%	0%	0%	
	4 学校は、キャリア教育全体計画に基づき自己選択、自己決定、自己表現のある教育活動を行っている。			44%	56%	0%	0%	
	5 教職員は、生徒及び保護者の希望や意向を反映し、自己実現を意識させる指導を行っている。			52%	48%	0%	0%	
	6 学校は、学級（生徒）、ワーク（地域）、進路（実習）それぞれの学びの場での有機的連携を図っている。			44%	56%	0%	0%	
	7 教員は、学習のめあてと振り返りを大切にした「わかる授業」を実践している。			40%	58%	2%	0%	
	8 学校は、外部講師などの活用により、健康な体や生命の尊さの理解及び道徳的心情の育成に努めている。			44%	54%	2%	0%	
	9 学校は、生徒の可能性を広げる特別活動の充実を図っている。			42%	58%	0%	0%	
	10 学校は、生徒の障害特性に応じ、ICTを活用した指導を行っている。			48%	50%	2%	0%	
	重点課題2 周囲との信頼 を築く教師力	11 学校は、施設や設備、備品等の定期的な点検と管理体制の徹底を図っている。			50%	48%	2%	0%
		12 学校は、非常時の対応として危機管理マニュアルが整備され、全職員に対し十分な理解を図っている。			44%	56%	0%	0%
13 教職員は、学校徴収金等の会計について、厳正な処理に努めている。				71%	27%	2%	0%	
14 学校は、科・学年・コース間において、効果的に連携できる体制づくりを行っている。				44%	52%	4%	0%	
15 学校は、教科等横断的、系統的な指導内容の設定に向けて検討・検証を行っている。				38%	58%	4%	0%	
16 学校は、教員としての資質や特別支援教育の専門性の向上を図る研修等を積極的に行っている。				48%	52%	0%	0%	
17 学校は、働き方改革の推進として、休憩時間の確保や超過勤務の縮減、年次休暇等の利用等負担軽減に向けた意識共有を図っている。				38%	60%	2%	0%	
18 学校は、いじめへの対処方針や指導計画を活用し、ハートフルリーダーを中心として早期発見や未然防止に取り組んでいる。				44%	52%	4%	0%	
19 学校は、教職員がやりがいをもって働くことができる環境・体制づくりに取り組んでいる。				40%	60%	0%	0%	
20 学校は、「支え合い補い合う組織」として、教育活動を展開している。				54%	46%	0%	0%	
重点課題3 地域に溶け込 む学校力	21 学校は、PTA活動が円滑に進むよう支援している。			56%	42%	2%	0%	
	22 学校は、保護者や地域への情報発信と、学校及び授業公開等に積極的に取り組んでいる。			69%	31%	0%	0%	
	23 学校は、社会に開かれた教育課程を編成し、地域資源を積極的に活用した教育活動を行っている。			58%	42%	0%	0%	
	24 学校は、学校運営協議会を活用した地域への理解啓発と連携強化及び地域貢献の推進を行っている。			65%	33%	2%	0%	
	25 学校は、来校者や地域の方々等、校内外において挨拶する意識の向上を図っている。			63%	37%	0%	0%	
	26 学校は、個別的教育支援計画等の活用に当たって、地域や関係機関と連携し指導の充実を図っている。			46%	54%	0%	0%	

構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも100%とはなりません。

令和6年度 保護者による学校評価アンケート（集計結果）

☒ そう思う ☑ ややそう思う ☐ あまり思わない ■ まったく思わない ◻ わからない

質問項目	評価		そう思う	ややそう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない
	50%	80%					
1 お子さんは、授業に意欲的に取り組んでいるようですか。			50%	38%	8%	1%	3%
2 お子さんは、挨拶をきちんとしていると思いますか。			43%	44%	10%	1%	1%
3 お子さんの服装や髪など身だしなみは、きちんとしていると思いますか。			35%	48%	14%	1%	1%
4 お子さんは、自分の実習等進路について真剣に取り組んでいるようですか。			51%	35%	8%	1%	5%
5 お子さんは、学校行事等に意欲的に取り組んでいるようですか。			58%	31%	6%	3%	2%
6 お子さんは、生徒会活動、委員会活動や部活動等に意欲的に取り組んでいるようですか。			39%	31%	14%	5%	10%
7 学校は、事故・けが・病気に対する対応を適切に行っていると思いますか。			60%	26%	5%	1%	8%
8 お子さんにとって、授業はわかりやすいものであるようですか。			46%	43%	4%	0%	8%
9 お子さんにとって、教員は熱心に授業に取り組んでいるようですか。			70%	24%	2%	0%	4%
10 教員は、いじめや暴力に関して取り上げて指導してくれているようですか。			56%	24%	4%	0%	16%
11 教員は、お子さんの悩みに対して相談ののってくれていると思いますか。			60%	30%	2%	0%	9%
12 教員は、実習など進路に関して、指導や相談ののってくれていますか。			71%	25%	3%	1%	1%
13 卒業後の生活など進路に関する情報は十分に提供されていると思いますか。			49%	38%	9%	0%	4%
14 来校時の事務職員及び教員の対応は適切で、話しやすい雰囲気がありますか。			64%	28%	4%	1%	3%
15 学校と家庭との連携が図られていると思いますか。			56%	36%	5%	0%	3%
16 P T A 活動の運営や内容は満足のものですか。			39%	36%	8%	1%	17%
17 連絡帳や配布物等を通じて、学校の様子がきちんと伝わっていますか。			52%	42%	5%	0%	1%
18 緊急メールの配信などで、緊急時の学校の対応等はきちんと伝わっていますか。			61%	31%	4%	1%	3%
19 お子さんを本校に入学させてよかったと思いますか。			74%	21%	3%	0%	1%

構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも100%とはなりません。

令和6年度 生徒による学校評価・授業評価アンケート（集計結果）

☒ そう思う ☐ ややそう思う ☐ あまり思わない ■ 思わない

項目	観 点	評 価		そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	思わない
		50%	80%				
1 学校評価	1	私は、学校へ来るのが楽しい。		57%	30%	9%	4%
	2	私は、八高支生であることに誇りを持っている。		61%	23%	12%	5%
	3	私は、八高支祭など学校行事は楽しみである。		66%	18%	13%	4%
	4	私は、服装や上履きの履き方をきちんとしている。		72%	20%	7%	1%
	5	私は、いつも課題（目標）を持って学習に臨んでいる。		51%	34%	11%	4%
	6	本校は、タブレット（ipad）やプロジェクターなどのICT機器を活用している。		81%	15%	4%	0%
	7	本校は、生徒会活動や委員会活動、部活動が盛んである。		53%	32%	11%	4%
	8	本校は、地域や他の学校と交流が盛んである。		64%	28%	7%	2%
	9	本校は、学校内でのあいさつがよく、元気がある。		65%	24%	9%	2%
	10	本校は、校舎内外やトイレ等の清掃がていねいできれいな学校である。		76%	15%	8%	1%
	11	本校は、清掃用具などがていねいに扱われている。		77%	18%	5%	1%
	12	本校には、いじめや暴力について指導してくれる先生がいる。		73%	18%	3%	5%
	13	本校には、何でも気軽に相談できる先生がいる。		72%	20%	4%	4%
	14	本校には、よくほめてくれる先生がいる。		66%	25%	6%	3%
	15	本校には、わからないことをていねいに教えてくれる先生がいる。		80%	16%	3%	1%
	16	本校には、将来の進路などについてよく話してくれる先生がいる。		78%	15%	5%	3%
	17	本校には、命の大切さや社会のルールについて教えてくれる先生がいる。		76%	16%	6%	2%
	18	私は、八高支に入学してよかった。		74%	16%	5%	5%
2 授業評価 (自分自身について)	19	私は、授業の前にしっかりと準備をして席または集合場所に着いている。		53%	37%	7%	3%
	20	私は、授業に集中しマナーを守って真剣に取り組んでいる。		56%	32%	12%	1%
	21	私は、課題や提出物を期限までに提出している。		52%	29%	15%	4%
	22	私は、自主的に学習する習慣ができています。		45%	26%	18%	11%
2 授業評価 (先生方について)	23	先生方は、始まりと終わりのチャイムを守っている。		72%	21%	5%	3%
	24	先生方の話し方ははっきりしていて聞きやすい。		74%	20%	4%	1%
	25	先生方の説明はわかりやすい。		69%	28%	1%	1%
	26	授業内容は自分にちょうどよい。		63%	26%	6%	5%
	27	先生方の板書（ホワイトボードに書いてあること）は見やすい。		77%	18%	2%	3%
	28	先生方は生徒の発言や反応を大事にしている。		72%	22%	3%	3%
	29	先生方は質問にきちんと答えてくれる。		78%	18%	1%	2%
	30	授業は楽しく興味・関心を持つことができる。		63%	23%	11%	3%

構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも100%とはなりません。